

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
榎原市	学校運営上 の課題	その他	中学校ではテスト対策等学力保障を中心に取組が行われている。小学校ではコロナ前は夏期休業期間に学力保障が行われてきたが、熱中症対策の観点から実施が難しい。	放課後子ども教室の取組が必須になったことを踏まえ、放課後事業の充実に努めていただくよう依頼している。	・様々な体験活動のメニューの増設や実施回数を増やす。	地域未来塾等の取組の充実をめざし、子どもたちの「学力」保障につなげる。 放課後子ども教室での体験活動を充実させることで子どもたちの体験活動をより活性化させる。 ※体験活動と自尊感情の相関関係は『青少年の体験活動に関する意識調査』にあり。	放課後子ども教室への参加延べ人数	3930	人	5110	8223	5活動の具体例の紹介などを行うことで、放課後子ども教室での多様な体験活動につなげることができた。今後、ボランティアの協力を更に得ることで、持続可能な体験活動、教職員の負担軽減等に繋げたい。	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1049/gyomu/5/1/16062.html

○令和6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

令和6年度の仮申請や本申請の際に設定したものをそのまま記載してください。

※課題の類型1から本年度の目標値までの欄

・本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。

・アウトカムの達成度に関する評価

当該年度におけるアウトカムの達成度（課題の解決・改善の進捗度）を5段階で自己評価してください。

【選択肢】

- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる

・事業における成果、課題、改善点等

「アウトカムの達成度に関する評価」に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。

目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点などを記載してください。

目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点などを記載してください。